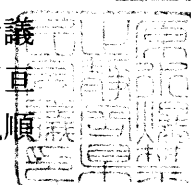
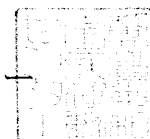


2011年6月13日

中部電力株式会社
代表取締役社長 水野 明久 様

静岡県平和・国民運動センター
会長 鈴木修
原水爆禁止静岡県民会議
代表委員 宮下 智直
桜井 規順



浜岡原発の永久停止、廃炉等を求める申し入れ

入梅の候、貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、去る6月11日、静岡県平和・国民運動センター並びに原水爆禁止静岡県民会議は、集会を開催し、集会の名を持ってアピールを採択しました。私たちは、浜岡原子力発電所の全機停止を歓迎するものの、防波堤ができるまでとの条件付きで完成後は再稼働することはとても容認できません。福島における原発震災を体験し、今もって収束していない状況を見れば、再稼働は考えられず、永久停止、廃炉とすることが必要であり、さらに安全な状況で冷温停止を続けることが必要と考えています。

つきましては、下記の通り申し入れますので、申し入れに対する貴社の誠意ある回答をお願いいたします。

記

1. 浜岡での原発震災を防ぐために、貴社の浜岡原子力発電所のすべての原子力発電を永久停止・廃炉とすること。
2. 貴原子力発電所は「100%安全」と表明してきたことの誤りを明らかにし、責任の所在を明らかにすること。
3. 小規模発電事業者の参入に道を開くこと。
4. 被ばく者救済制度の確立を図ること。
5. 貴社のエネルギー政策を転換し、再生可能なエネルギー利用を拡大し、持続可能で平和な社会の実現をめざすこと。
6. 例年開催してきた、電力問題懇談会を早急に開催すること。

以上